

家庭裁判所調査官

インターンシップ

Nagoya Family Court Internship 2018

11月22日に、名古屋家庭裁判所で家庭裁判所調査官（家裁調査官）のインターンシップを開催し、11名の学生の皆さんに参加していただきました。当日は、①調査実務の模擬体験（家事事件・少年事件）、②庁舎見学、③現役の家裁調査官との座談会などのプログラムを実施しました。当日のプログラムに沿って参加者の声をご紹介します。



9:15

全体ガイダンス

1日の始まりは自己紹介からです。皆さん、やや緊張の面持ちでした。

9:45

家事事件調査 模擬体験

両親の離婚に直面した小学生の女の子の気持ちをどのように探るかについて、活発に意見を交わしました。

家裁調査官の 仕事の魅力（アンケートより）

1. 他人の人生に関わる重要な仕事である
2. 女性が活躍できる
3. 公共の利益のために働くことができる
4. 専門性が高い
5. 司法に携わることができる



❖初めは堅いイメージかと想像していたが、話やすく頼れる方たちだと思った。

❖「人の話を聞いて、受け止める」というイメージが強くなった。



❖家事事件について、普段見ることがあまりないので、具体的な模擬事例をもとに業務体験できてよかった。

❖大人の視点だけでなく、子どもの視点といった関係する人全ての人の視点を考えるきっかけとなった。



❖「子どもの福祉」ということをよく聞かすが、調査が実際にどのように行われており、それがどのように「子どもの福祉」につながるのかを知ることができ、ためになった。



13:15

少年事件調査 模擬面接体験

家裁調査官や非行少年等になったつもりで、面接場面を模擬体験（ロールプレイ）しました。



- ❖ ロールプレイを通して質問を考える難しさや少年の気持ちを考えて応答する大切さを知り、貴重な体験ができた。
- ❖ 様々な立場のロールプレイを体験し、1つ1つ丁寧にディスカッションが行われたため、頭の中が整理された。
- ❖ 少年事件の最近の動向について聞くことができてよかった。



15:00

庁舎見学

普段は見ることができない審判廷や執務室を見学しました。



- ❖ 家裁調査官が普段働いている職場を見学でき、働くイメージを持つことができた。
- ❖ 多くの職員が関わってくれて、とても充実したインターンシップだった。
- ❖ 家裁調査官の生の声を聞けてとても良かった。

15:20

座談会

参加者と現役の家裁調査官とが「本音トーク」を交わしました。



- ❖ 実際に業務を体験することで理解が深まり、参加して良かった。
- ❖ 調査官の仕事は、他人の人生に大きく関わることになるので、責任があり、やりがいのある仕事だと思った。



インターンシップ終了後も、参加者同士で話が弾んでいたりと、現役の家裁調査官に熱心に個別質問をする方がいたり、楽しい雰囲気でした。これを機会に、家裁調査官の仕事に興味を持っていただく方が増えると嬉しいです。参加者の皆さん、お疲れさまでした。